

令和５年度 沖縄地方ダム管理フォローアップ委員会
議事要旨

1. 日 時：令和６年３月２７日（水）１３：３０～１６：３０
2. 場 所：沖縄総合事務局２階災害対策室
3. 出席者：神谷委員長、大城委員、金城（栄）委員、金城（孝）委員、古里委員、
福田委員、立原委員
4. 議 事：「羽地ダム 定期報告書（案）」
「大保ダム 定期報告書（案）」
5. 主な意見

「羽地ダム定期報告書（案）」について

○利水補給

- ・節水に関する呼びかけや広報活動をより進めていただくとともに、それらが十分に住民に届いているか、また節水効果についても把握していくことが重要である。

○堆砂

- ・渇水時に貯水位が低下することで、貯水池上流端の環境が変化する可能性がある。

○生物

- ・オオクチバスについては拡大防止と拡散防止について重要な課題である。

「大保ダム定期報告書（案）」について

○生物

- ・生物全般、特に魚類に関して、うまく保全が機能しているダムの例と思う。
- ・事業概要を記載する際は、注釈を追記するなど、明確かつわかり易い表現にてとりまとめることが重要である。

○水源地域動態

- ・ダムまつりは、人が多く来場し盛況であり、地域と一体となって活動するということが有益なものであることから、今後も継続して取り組んでいただきたい。